

「下街道(塩浜街道)を歩く」

主催:三重県・みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会
協力:四日市市・菟野町・朝日町・川越町

平成22年11月13日(土) 午前9時から13時に開催しました。

「下街道」は四日市と白子町江島(鈴鹿市江島町)の間を結んでいる道のことで、「東海道」「参宮街道」の東方海岸側にほぼ並行して自然発生した屋並みに沿った道です。昭和30年代以降、地域経済の伸展によって大きく変貌を遂げた塩浜地域を、40名の参加者がゆったりと歩きました。

海山道神社→馳出町常夜燈→馳出町地蔵堂(市指定有形文化財)
→馳出町倶楽部にて講演→金剛寺→虫供養塔→浄福寺→
御園地蔵→御園神社・解散



海山道神社は創立年代は不詳ですが、郷土鎮守として親しまれており、維新以後、『洲崎濱宮神明社』と言われていた等、詳しい説明を宮司さんよりうかがいました。



馳出の常夜燈は町の北はずれに一对が建っています。建てられた理由などは伝わっていませんが、海山道神社への献燈であろうと考えられます。



昭和38年の火災で地蔵堂は焼け落ちてしまいましたが地蔵菩薩像や他の仏像は周辺の人達の手で守られ焼失を免れました。「火伏せ延命大菩薩」として人々から尊敬されています。



当協議会長の佐藤誠也氏より、馳出村(現馳出町)の古絵図等をもとに当時の下街道の様子について講演を聞きました。



金剛寺境内南門と向かい合って建っている「虫供養塔」です。かつてはこの地域も田畑が広がる農村だったことがうかがえます。



浄福寺・・・浄土真宗高田派



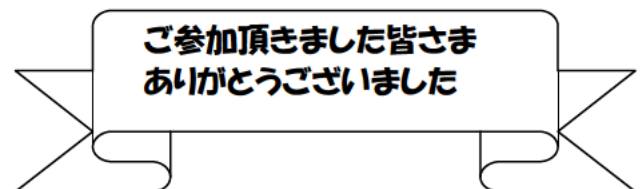
御園地蔵 意に沿わない結婚をした娘が身投げ自殺をし、両親は後生を慰めるためにお地蔵さんを祀ったという悲しい話が伝わっています。



御園神社
伊勢神宮（外宮）の塩御園に由来する等の解説を宮司さん（右端）よりうかがいました。



新民謡「塩浜の里」
下街道道筋の情景にぴったりの新民謡が完成し、県民文化祭の発表を前に練習を重ねている藤本秀敏さんより「塩浜の里」の演奏披露がありました。飛び入りの生演奏にみんな大喜びでした。



第3回街道ウォークは、平成23年2月3日（木）味の素バードサンクチュアリと海山道稻荷神社の節分行事“狐の嫁入り”を見学します。